



**赤井官衙遺跡群の
これからを考える。**
6月19日、赤井官衙遺跡群の国史跡指定を記念し「赤井官衙遺跡群が語るもの」と題した講演会を開催。市内外から100名が集まりました。



講演会アンケートより

自分の住む町も古代から歴史があるのだと知り、興味が深まるとともに、幸せな気持ちも感じた。地元の歴史にも興味が沸いてきた。

地域の宝としてみんなで守っていく。多くの人がつながりを感じていけるようにこの地域の大切な遺跡としてみんなで考えていきたい。子どもに伝えていくことが大事。

私たちの地域やルーツ、誇りなどを考えていく上で歴史や考古学の持つ役割はとても重要だと感じています。

坂井先生のお話は、地域にとって文化財・史跡がどれくらい重要なものかというところから話をしてくださって心に響いた。

土地の過去の営みをみえるように整備して活用するべきという点は印象に残った。

今後ぜひ現地ツアーをやってほしい。

赤井遺跡ってほんとにすごい物なんだと改めて思う。観光のスポットとしてロマンを求める若者や多くの人に発信したらどうでしょう。

第2部は、岡村道雄名誉館長と坂井氏が「赤井官衙遺跡群のこれから」をテーマに対談。長年、文化財の活用と保存に関わってこられたお二人ならではの視点で、赤井官衙遺跡群の今後の活用と整備の課題について語っていただきました。
岡村名誉館長は、他史跡での住民参加型の活用事例を紹介しながら

「地域の人が参加し、伝えていくことが大事。」とよびかけました。
坂井氏は、遺跡の整備について「過去の人々の営みを伝えるのが、文化財、だが、役所の遺跡というのは当時の営みが伝わりにくく親しみづら。そこをどう乗り越え伝えていくかが課題。大きなガイダンス施設にこだわらなくても、工夫次第で規模感や当時の情景は伝わる」と助言。
会場からは「地域の宝として、子ども達にも知ってほしい。地域の大事な遺跡としてみんなで活用を考えたい」というご意見が聞かれました。
今回の国史跡指定により「初めて遺跡のことを知り興味を持った」「もっと赤井官衙遺跡群のことを知りたい」という声が多く聞かれました。これからより多くの方々に遺跡を知っていただけるよう情報発信に努めるとともに、市民の皆様とともに赤井官衙遺跡群のこれからを考えていければと思います。

▶ Information

夏休み企画 おいでよ、縄文村へ！

8/7(土)～8/9(月) 8/13(金)～8/15(日)

有料 DAY 9:30～15:00
無料 DAY 10:00～15:00
料金 入館料+各種体験料

夏休みは縄文村で遊ぼう！縄文体験が予約なしで楽しめる6日間。火おこしや勾玉作り、貝塚ツアーなどおなじみの体験のほか、丸木舟作りや日替わりメニューが登場します！
夏休みの工作や自由研究にもおすすめです。

※コロナ感染状況により無料 DAY を中止する場合があります

8日・15日は
入館 & 体験
無料 DAY。

くわしいスケジュールは
こちらでチェック！



HP



Facebook



Instagram

パンフレットあります！

国史跡指定を記念し「赤井官衙遺跡群パンフレット」を作成しました。配布先は奥松島縄文村歴史資料館、図書館など。詳しくは縄文村まで。
また縄文村資料館HP内に赤井官衙遺跡群のページがあり、そちらでもパンフレットを公開しています。

赤井官衙遺跡群の展示を公開中。

現在、縄文村 2階展示室で赤井官衙遺跡群を紹介する展示を開催中です。